

水産資源委託調査

沢田 兼造・富永 武治・中田 凱久

〔発表誌名〕 昭和55年度，沿岸重要資源委託調査結果報告書

調査結果

1. 漁 況

(1) 沿岸重要魚種漁獲量（県統計）

昭和55年1月から10月までの沿岸重要魚種の県総漁獲量は405,883トンで，昨年同期（203,768トン）の2倍であった。

(2) マイワシ

本年1月から10月までの漁獲量は117,670トンで，昨年同期（101,165トン）の1.2倍であった。

(3) ウルメイワシ

昭和36年をピークとして漸く状態にあり昨年同様皆無であった。

(4) カタクチイワシ

本年1月から10月までの漁獲量は500トンで，昨年同期（513トン）の97.4%であった。

(5) マアジ

本年1月から10月までの漁獲量は2.43トンで，昨年同期（7.2トン）の33.7%であった。

(6) スルメイカ

本年1月から10月までの漁獲量は86,625トンで，昨年同期（43,293トン）の2倍であった。

(7) マサバ

本年1月から10月までの漁獲量は201,086トンで，昨年同期（58,788トン）の3.4倍であった。

2. 魚 体 調 査

(1) マイワシ（後潟）

A 体 長 6.0～24.5cmの範囲に分布し，モードは7月の17.5cmが最大で，12月の8.0cmが最小

B 体 重 5g以下～170gの範囲に分布

C 肥 満 度 8.5～17.0の範囲に分布

D 生 殖 腺 5月から6月下旬までは，平均1g以上のものが出現し，最高は雄の14.2gで，7月以降は0.1g以下の個体が出現している。

E 年 令 5月～6月下旬までは2～3才魚の出現が多く見られ，7月から1才魚の出現が多くなった。

(2) カタクチイワシ

- A 体 長 7.5～14.5cmの範囲に分布し、モードは5月と12月の13.0cmが最大で、12月の7.5cmが最小
- B 体 重 6～36gの範囲に分布
- C 肥 満 度 9～13.0の範囲に分布
- D 年 令 5月は2才魚の個体で、12月は1才魚であった。

(3) マアジ(後潟)

本年は魚体調査するほどまとまった魚がなかった。

(4) マサバ(後潟)

- A 尾 叉 長 13～31cmの範囲に分布し、モードは9月の30cmが最大で、11月の14cmが最小
- B 体 重 20～440gの範囲に分布
- C 肥 満 度 8.0～16.0の範囲に分布
- D 生 殖 腺 9月25日の調査で雌雄共に0.1～1.4gの範囲に分布していた。
- E 年 令 1～2才の範囲で1才の個体が多かった。

(5) スルメイカ(後潟)

- A 外 套 長 7～14cm範囲に分布し、モード12cmにあった。(5月26日1回だけの調査)
- B 体 重 10～70gの範囲に分布
- C 生 殖 腺 分布巾は<0.1～1.4gの範囲で、雌雄共に1g以下の個体が多かった。
- D 胃 内 容 胃内容物種類はイワシ小魚を多く摂餌していた。

考 察

4月～12月にかけて津軽海峡大畑付近で定置網によって漁獲されるマサバ、マイワシの標識放流を試みることによって、これら魚種の回遊経路をは握りたい。